

ネットワークシステム科

卒業認定の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）

■ 育成人材像

- ① ICT 技術の共通の基礎となる、ハードウェア・ソフトウェア・システム開発・ネットワーク・セキュリティ・データベース・AI などの情報処理に関する知識を身に付け、適切に応用、活用することができる。
- ② コンピュータネットワークシステムの設計・構築・運用ができる。
- ③ 情報セキュリティ対策の目的や内容を適切に理解し、安全に ICT を活用できる。
- ④ 物事に主体的に行動することができ、他の人と協調しながら業務を進めることができる。

■ 身に付ける能力

- ① 各種ネットワーク機器・Windows・Linux の知識に基づいて、中規模なネットワークシステムの設計・構築・運用ができる。
- ② 最新の情報セキュリティを理解し、情報セキュリティマネジメントの計画・運用・評価・改善を通して、脅威から継続的に組織を守るための対策を提案することができる。
- ③ プログラム言語を使用してネットワークの管理・運用を行うこと（プログラマビリティ）ができる。
- ④ 社会で円滑な関係を築くため、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付け、顧客の要求に合ったネットワークシステムの提案ができる。
- ⑤ ICT 基礎を理解し、知的探求心と想像力を持ち最新の ICT 技術にも積極的にチャレンジできる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）

■ 教育課程編成の方針

- ① 豊かな教養と社会常識を身に付けるために、「就職対策」を各年次に配置する。
- ② 1 年次は、IT 分野における基礎的知識、基本情報技術者試験や情報検定の合格を目指すための専門科目を配置する。
- ③ 1 年次後期は、ネットワーク・セキュリティ分野の基礎知識を身につけるための専門科目を配置する。
- ④ 2 年次は、IT ネットワーク業界で即戦力として活躍できる実践力を習得するため、ネットワーク設計・構築・管理、セキュリティ、オペレーティングシステム、プレゼンテーション、プログラミングを身に付けるための専門科目を配置する。
- ⑤ 2 年次に企業と連携した実習科目を配置する。

■ 授業実施の方針

- ① キャリア教育科目である「就職対策」はオンラインコンテンツを利用した一般常識の学修、履歴書・エントリーシートの記述指導、面接訓練等の実践トレーニングとする。
- ② IT 分野における基礎的知識の修得と検定試験合格を目的とした科目は、講義と演習問題を中心に授業を行う。
- ③ ネットワーク・セキュリティ分野における知識修得を目的とした科目は講義形式で行うことを基本とし、知識の定着のために実機演習やシミュレーションソフトを使用した演習を行う。

- ④ 卒業研究では、ネットワーク・セキュリティ技術の研究を行うとともに、グループワークを通してコミュニケーション力を身に付けることも目的とする。
- ⑤ 実践力を身に付けるために実施する企業と連携した授業は、ネットワーク・セキュリティに関する専門科目を、連携企業を会場に、現役エンジニアが講師となり専門性の高い技術的な指導を行う。

■ 学修成果評価の方針

- ① 講義科目は、定期試験、小テスト、レポート、授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。各科目の評価方法はシラバスに記載する。
- ② 実習科目は、課題の提出状況、作品の完成度、授業に取り組む姿勢をもとに総合的に評価する。各科目の評価方法はシラバスに記載する。